

長島の春の花祭り開幕

第7回夢追い長島花フェスタ



↑開幕当日、入場ゲート前でのテープカット



↑押し花体験会で好みの押し花を作成



↑野点で来場者をおもてなし



↑花カフェマーケットでは花の苗を販売



↑木市では先着 200 人にツツジ苗木などを無料配布

でいました。同日、町文化ホール下の駐車場では「春の木市inながしま」が開催され、目当ての木を競り落とそうと、集まった多くの人たちが賑わっていました。

数多くのイベントを準備している同フェスタは、5月7日まで、開催されます。

26日は、川床ふれあいの郷の花カフェ長島で「花カフェマーケット」を開催。本町特産品や、自家製「花の苗」の販売、よいどれ一座による公演などが行われ、来場者らを楽しませていました。

4月2日には、町文化ホールロビーで、押し花体験会が行われ、参加者らは、思い思いの押し花を使って作品製作を楽しみました。

26日は、川床ふれあいの郷の花カフェ長島で「花カフェマーケット」を開催。本町特産品や、自家製「花の苗」の販売、よいどれ一座による公演などが行われ、来場者らを楽しませていました。

4月2日には、町文化ホールロビーで、押し花体験会が行われ、参加者らは、思い思いの押し花を使って作品製作を楽しみました。

3月25日、サンセットの丘と、ぐるっと一周フラワールードを会場に、第7回夢追い長島花フェスタが開幕しました。

長島の春の祭りを彩る花は、約100種50万本が、会場いっぱいに咲き、来場者たちを楽しませていました。

25日、サンセットの丘会場では、オープニングセレモニーが行われました。

あいにくの雨となりましたが、飯田満穂長島花のまちづくり協議会長は「7回目となった今回は、『レインボーガーデン』というテーマで花苗の植えかたや開花時期を考慮し、七色の虹の長島を表現したので楽しんでほしい」とあいさつした後、川添町長や当フェスタマスコットキャラクターの「はなちゃん」とテープカットを行い、44日間続く本町の春の花祭りがスタートしました。